

神奈川県山梨教会連合会たより

かりん

インタビューシリーズ【向き合う】

第一回（後半）

横浜西教会信徒 箕田朋歩

○フォーゲルの活動を積極的に進める中、反発する時などありましたか。
箕田朋歩さん（以下・朋）：同じ様な事を時々聞かれるのですが、当時、フォーゲルの集会に行くことを嫌だと感じたりする事が、全然なかったのです。

高校生の頃、同世代や少し上のリーダーと、信心や信仰心・信仰に繋がる活動の話や聞かせてもらったり話したり、集会時やキャンプの合間にしていました。

リーダー達からは、信仰に対する考えを押し付けられる事なく、おかげ話や生活の中での気づきを聞かせていただきました。また、自分自身の信仰に対する考えや喜びを受け止め、共感してもらえたことは、学校やバイト先では出来ない、貴重な体験でした。そういった時間も毎回楽しみにしていたので、反発する気持ちなどはなかったですね。

○リーダーとなられてからは、どういう思いで参加されていますか。

朋：私たちが経験させてもらってきた様な、同世代の信奉者との交流を、集会やキャンプなどを通して経験してもらいたい、と思っています。御用も色々あると思うのですが、私はフォーゲルの御用が合っているので、これからも取り組んでいきたいと思えます。

○ありがとうございました。

【実際行われたフォーゲルの集会（今回はカレーを作る連盟集会）の様子を掲載します。】

フォーゲル 春の連盟集会 《カレー作り》

令和五年五月二十一日（日）、初夏を感じさせる晴天の中、東京都しながら区民公園にて、関東のフォーゲル隊が集まり、連盟集会が開かれました。

今回の集会テーマは「カレー作り」。三つのチームに分かれて、各隊が考えてきた、趣向を凝らした三種類のカレーを、協力して作りしました。



いづらいですが、保護者の手も借りつつ、生き生きと調理を進めます。

隊員はリーダーからの指示を聞き、積極的に動きます。屋外のバーベキュー場は、洗い場も狭く、家のキッチンや調理場より使



中学生以上の隊員は、リーダーの見守りの中、焚火で使う薪を割ります。ナタを使った作業に、少し戸惑う隊員がいたり、慣れた様子でどんどん割っていき隊員もいました。コツを教わりつつ、協力して割っていきます。

（4Pへ続く）



教祖百四十年「教師信徒研修会」 を開催（その一）

去る7月2日（日）午後1時30分から4時まで、神奈川公会堂1号会議室を会場に、教祖百四十年「教師信徒研修会」を開催して、11教会から31名が参加した。

神奈川山梨連合会会長・山田信二先生は、開会挨拶の中で「教祖百四十年を迎え、改めて教祖様の信心を学ばせて頂き、それを元にして自分自身の信心を見直し、ここからどのように信心を進めていくことが幸せとなり、神様が喜んで下さることになるのか、それを求めていくのがこの節年の意味である」と語った。

講演に入り、講師である東京センター所長・所沢教会長 嶋田洋先生から「これからの信心」と題して、先生の経験を踏まえながら、レジュメに沿って講話を伺った。

講話「これからの信心」

・独自性―他宗教との差別化

金光教は他宗にない独自性をもっている。今日の問題として、コロナの問題、統一教会の問題、ロシアウクライナ戦争等、現代社会の問題に対して、どう向き合えばいいのか、この難題に金光教としてどういう独自なおかげを提示することができるのか、考えさせてもらっている。



嶋田洋先生

金光教には、いろいろな教えがあり、事柄一つ一つに対応する教えがたくさんある。しかしその難儀にいくら教えを並べたところで、それが直接おかげに繋がるかという点、そういうわけにはいかない。その教えを通して私共一人ひとりが、祈りの中味として、行動の一つとして、どう対応していくかが問われている。

私は海外をはじめ、いろんな場でボランティアに携わってきたが、金光教を背負って現場に立っていることになり、必ず金光教はどういうことをやって社会のお役に立っている宗教なのか、特徴はどういうことか、尋ねられる。人にお道を伝える時には、一人ひとりが自分のオリジナリティ、本教のウリ、ここが凄いなんだというのを三つ、四つは持つておくべきである。これが自慢なんだというものを皆持つてもらいたい。

・みやすい信心―可視化

信心、徳、めぐり、なかなか目に見えない。それが見ることができたらどれだけ信心がやりやすくなるか。

修行時代に聞いた話だが、ある先生が「世の中で一番怖いものは何か」とある人に尋ねた。その人は「地震、雷、火事、オヤジ」と答え、先生は「確かにどれも怖いけど、一番怖いのは徳切れだ」と言われたという。徳というものは目に見えない、だから徳を積んでいっているのか見えない、だから油断禁物である。徳を積む一番の方法は、神様のことを一番に優先すること、これが徳を頂く一番わかりやすいあり方であると、具体的に言われている。

金光教の特徴として、信心即生活、生活即信心という教えがあるが、生活の中で信心を現わす。それぞれの課題として取り組んでくれれば有り難いということで、可視化できればと思ったことである。

（次号に続く）

（報告 南清孝）

女性のつどい 開催報告

6月23日（金）13時半、横浜西教会お広前で、連合会信徒部主催の女性のつどいが開催された。発表者は横浜西教会の信奉者でサクス奏者の岩井和子さん。集会の前

時間を利用して、さまざまな曲を演奏して下さった。定刻、山田初子さんの司会で会は進行、ご祈念に続いて、山田信二連合会長の挨拶、山口和賀雄信徒部長の挨拶のあと、お話が始まった。



演奏中
の岩井和子さん

「祖母の母が大明教会に参拝させて頂いたのが、金光教との出会い。祖父が八十歳の時、直腸癌で亡くなったが、その折、祖父が甲府教会長・牧野武雄先生に篤い信頼を寄せていることを知った。その後祖母が朝参りをするので、その付き添いで私も朝参りしたら、真幸先生が金光教関連のご本をいろいろ貸して下さった。それを読み進むうち、金光教に理解を深め、み教えが好きになっていった。国立音大に進み、上京したが、自室にみ教え日めくりを掲げていた。同級生だった夫と結婚し、ドイツに留学することになって、甲府教会に参拝した。武雄先生が「ドイツは近い、近い。すべて神様のお土地、何の心配もない」と言ってお下さり、安心して出発したが、数々のお繰合せを頂き、夫婦で武雄先生に頂いたお言葉の意味を実感させて頂いた。さらに、ヨ

ロッパ集会では、横浜西教会・山田信二先生にお会いし、さまざまなことを教えて頂き、夫は一層金光教に理解を深めてくれるようになっていった。帰国後、音楽家として独立したが、夫も私も言わば個人事業主、定期的な収入が保証されているわけではない。神様がマネージャーだと思っ生きてきた。神様にお任せする生き方は、とても生きやすく、安心できる。帰国後二十年、収入の面でも一度も足りなかったことがなく、神様にお養い頂いていると感じ、感謝している」。

その他、二十四歳の長男と二十一歳の次男の成長過程や進学にまつわるお話、フォーゲル活動が二人の息子の成長に、好影響をもたらしたこと、自宅から教会まで往復五時間かかる処に住んでいて、とても日参は無理、そのためメール日参をしていること、夫に対しては石にならず豆腐になりたいたい心がけていること、夫に限らず人と接する時は、柔らかく受け止めて、こだわらない生き方をしたいと願っていることなどを、具体的に詳しく話してくれた。神様にお願いした以上、よくても悪くても不足に思わず、有難く受けることが大事、安心して生きていけると話を結ばれた。最後に「神人の栄光」を演奏して、お話は終わった。

その後、出席者全員が自己紹介をし、質疑応答のあと、甲府教会長・牧野真幸先生の感話を頂いた。「人間的にも信心的にもよ

く成長してくれたとうれしく思い、感謝している。神様にすべてをお任せすることは信心の大切な要件だと思うが、案外これが出来なくて苦労している人も多い。子供に對しても、ただ勉強しろなどやかましく言わず、穏やかに接していて、子供の良い処を伸ばしている。素晴らしい」。

神様がマネージャーという考え方は、玉水教会初代教会長湯川安太郎先生の「神様はご主人、私は奉公人」というご理解に共通していると思うが、岩井さんはこの若さで、それを口先のことだけでなく、自分のものとして実践されていて、驚嘆した。

参加者は十一教会・三十七名。お話の内容を詳しくお知りになりたい方は、金光教神奈川山梨教会連合会のHPをぜひご覧になって下さい。

(報告 大塚東子)



参加者全員でハイチーズ

2023 (令和5) 年度 生神金光大神大祭日程

教会名	日 程
甲府教会	10月15日(日) 13時30分
小田原教会	10月22日(日) 14時
登戸教会	10月22日(日) 13時30分
横浜西教会	10月22日(日) 13時30分
大明教会	10月29日(日) 13時30分
南甲府教会	10月30日(月) 11時
横須賀教会	11月3日(祝) 13時30分
生麦教会	11月3日(祝) 13時
丸子教会	11月3日(祝) 11時
相模原教会	11月3日(祝) 14時
平塚教会	11月4日(土) 13時
子安教会	11月5日(日) 13時30分
鎌倉稲村ガ崎教会	11月11日(土) 13時
武蔵小杉教会	11月12日(日) 11時
野毛教会	11月18日(土) 13時30分
神奈川教会	11月25日(土) 11時30分
藤沢教会	11月28日(火) 11時

小学校高学年生や中学・高校生組は、汗だくで鬼ごっこ！



(1Pからの続き)
準備を終え、火を焚き、用意した食材を煮込んで、無事三種類のカレーの出来上がりです。みんなで美味しくいただきます。

食事の後は、みんなで片付け、公園で楽しく遊びました。リーダーと一緒に、沢山ある遊具で遊びました。



合間に、リーダー達に話を聞いてもらったり、色々な世代の人と交流しました。



最後は、ご祈念して解散です。

「会に入っていないから：」「うちの教会では活動を行っていないから：」「未信奉者なんだけど：」という方、誰でも参加できますので、興味のある方はぜひご連絡下さい。

連絡先…金光教フォーゲル連盟事務局

(金光教横浜西教会内)

電話・FAX…045・804・2295



金光教神奈川山梨教会連合会

発行者 山田 信 二

横浜市泉区下飯田町926・23

〒245-0017 金光教横浜西教会内